

つるい





つるい 納涼まつり



7月25日に総合センター前庭にて「つるい納涼まつり」が開催されました。今年も村内外から多数の飲食店が出店し、「かなでーる」の大正琴による美しい音色の演奏で幕を開けました。

恒例の牛乳早飲み競争では、大人も子供も僅差での勝負となり、大いに盛り上がりました。また、「ピエロのぐっち」によるスペシャルバルーンショーでは、最後にポケモンやアンパンマンなどのバルーンが配られ、バルーンを手にした子供たちの笑顔で会場は一層にぎわいました。



令和7年度鶴居村ふるさと創生中学生派遣交流事業

～赤井川中学校との交流～



7月8日～10日の2泊3日の行程で鶴居中学校2年生を対象に、鶴居村ふるさと創生中学生派遣交流事業を実施しました。本年度も昨年度に引き続き、「日本で最も美しい村」連合に加盟している赤井川村立赤井川中学校の2年生との交流と赤井川村役場を訪問させていただきました。

この事業では、鶴居村に愛着と誇りを持ち、豊かな人間性を持った「鶴居びと」を育て、これからの鶴居村の村づくりについて一人ひとりが自分ごととして考えられるようになることを目指しています。

交流に向けた準備として、総合的な学習の時間を活用し、鶴居村の概要や村づくり、タンチョウの生態・保護について学習を行いました。また、赤井川村の村づくりについても事前学習を行い、役場訪問で質問することをまとめた質問リストを作成しました。

中学校との交流では、事前学習で作成した資料に沿って、鶴居村の村づくりやタンチョウについての発表を行いました。



た。赤井川中学校からは、伝統芸能であるカルデラ太鼓の演奏が行われ、お互いの学校の取り組みを学び合いました。発表を通し、鶴居村と赤井川村の良さや違いについて理解を深めるとともに、生徒同士の交流も深まった事業となりました。

役場訪問では、赤井川村役場総務課職員から、赤井川村の村づくりについて説明をしていただきました。また、事前学習で生徒たちが作成した質問リストに対しても、分かりやすく丁寧な受け答えをいただきました。赤井川村の馬場村長や赤井川教育委員会の根井教育長からも村づくりについて説明していただき、生徒1人ひとりが感じている、ふるさと鶴居村の素晴らしさを再認識することができたと思います。

今後も、次世代を担う鶴居村の子どもたちが、他の地域での体験や経験を通して、豊かな人間性と創造力を身に付けた「鶴居びと」として成長していくことを願っています。

～鶴居村PR活動～



7月8日、新千歳空港のセンタープラザの一部をお借りして、鶴居村PR活動を実施しました。

この取組は、鶴居村ふるさと創生中学生派遣交流事業の趣旨「創造性豊かな人材（鶴居びと）の育成」を目指して行いました。PR活動では、空港内の旅行客に鶴居村観光ガイドブックやふるさと納税のパフレットなどを生徒から1つずつ手渡ししました。

鶴居村を知らない人に自ら声をかけ、この事業を通して学んだ村の魅力、中学生から見えている鶴居村の良さ、知っていただきたいところを、自分の言葉で精一杯届けました。

限りある時間ではありましたが、生徒たちにとって貴重な経験となる活動となりました。



鶴居中学校ボランティア委員会が日本善行表彰受賞

7月14日、役場応接室にて、日本善行会の春季善行表彰が行われ、日本善行会釧路支部の鶴沼康有支部長（写真左）から鶴居中学校ボランティア委員会に賞状が伝達されました。

当日は、名和勝紀鶴居中学校長が表彰状と盾を受け取りました。

鶴居中学校ボランティア委員会は1998年4月から活動を始め、ベルマーク回収や共同募金、校外清掃のほか、タンチョウの一斉調査や餌となるデントコーンの収穫も担うなど地域住民とも手を取り合って地域に貢献してきました。

あらためまして、その功績に敬意を表します。



伊東良孝内閣府特命担当相が鶴居村を視察

村では、今年度より国が実施する「地方創生伴走支援制度」の対象自治体として採択されており、現在、地方創生支援官による継続的な支援を受けています。7月24日から26日かけては、支援官3名が鶴居村を訪問し、村釧路湿原観光コンテンツ創出事業プロジェクト会議の出席など、地域の実情把握や関係者との意見交換が行われました。

この支援官の現地訪問に合わせ、7月25日には伊東良孝内閣府特命担当大臣（地方創生担当）が鶴居村を視察され、支援官の取り組み状況や今後の展望について意見を交わした他、地域資源を活かした観光・産業の現場として、クラフトビール工場や「つるいむら湿原温泉ホテル」も訪問され、村の取り組みに耳を傾けられました。

また、同日開催された「つるい納涼まつり」には来賓としてご出席いただき、地域住民との交流も図られました。

釧路湿原を「稼げる観光」へ

村釧路湿原観光コンテンツ創出協議会（会長：大石正行村長）は、7月24日・25日の3日間にわたり、「稼げる観光」の実現に向けた取り組みの一環として、釧路湿原国立公園エリアを舞台にしたアドベンチャートラベル推進のプロジェクト会議および現地視察、意見交換会を開催しました。

本会議には、村内の観光事業者をはじめ、村、北海道、国などの関係機関の担当者が参加。また、今年度から村が国の「地方創生伴走支援制度」による支援を受けていることから、地方創生支援官も出席し、地域の課題や今後の展望について活発な意見交換が行われました。

また、現地視察では、釧路湿原国立公園の宮島岬エリアなどを巡り、自然環境の保全と観光利用のバランス、土地所有者との調整等に関する課題についても意見を交わし、利用ルールの在り方などについても議論が交わされました。



ロゼスパークリングワイン「tsuru to teshika」発売

弟子屈・鶴居ワイン特区で初のコラボワインとなるロゼスパークリング「tsuru to teshika 2024」が7月25日より発売されました。

「tsuru to teshika」は、添加物を使用していないナチュラルワインで、柑橘系の香りと味わいを持つ弟子屈産の山幸と、アンズや桃のような甘い香りの鶴居産の山幸を別々のタンクで野生酵母によって発酵させ、瓶詰め直前に同量ずつブレンドして醸造されました。

村内では、つるぼーの家にて購入できます。温度によって味や香りが変化する様子もお楽しみください。



令和7年度戦没者追悼式

8月8日に鶴居市街地の忠魂碑前にて戦没者の遺族来賓、関係者などが参列し、戦没者追悼式が執り行われました。

追悼式では、先の大戦において犠牲となられた方々へ1分間の黙祷を捧げました。また、大石村長の式辞に続き、松井村議会議長や北海道連合遺族会長等から追悼の辞が述べられ、ご遺族、関係者による白菊の献花が行われました。

当日は30度近い気温の晴れ渡った空の下、参列者は亡くなられた方々への追悼とともに、平和への願いを新たにしました。

包括連携協定締結

8月13日に鶴居村、釧路市、中央大学、釧路公立大学との包括連携協定が締結されました。

この連携協定により、中央大学と釧路公立大学の教育・研究分野における協力関係を基盤に、釧路市と鶴居村を加えた4者が連携を強化し、まちづくりや地域活性化など幅広い分野で包括的な連携を推進します。

この連携協定により、地域課題の解決や大学の教育・研究の充実を図り、持続可能で公正な社会の発展に貢献することを目的としています。



2025TSURUI PREMIUM TICKET

#

2025 鶴居村

美しい村プレミアム商品券

13,000円(500円×26枚)

商品券有効期間:令和7年9月5日(金)~令和7年12月31日(水)

鶴居村商工会



美しい村プレミアム商品券販売開始

9月5日から鶴居村商工会より「美しい村プレミアム商品券」が販売されます。今年度もプレミア率が30%となり、1万円の購入で500円の商品券26枚綴の1万3千円分となります。

また、商品券で6カ所の取扱店を巡りスタンプを集めると、鶴居村温泉ペア宿泊券など豪華賞品が当たるスタンプラリーも実施されます。

村内の方はもちろん、村外の方もご購入が可能です。販売日時や場所などの詳細は左記QRコードよりご確認ください。多くの方のご購入をお待ちしています。

令和7年国勢調査を実施します



 国勢調査2025



- 国勢調査は、令和7年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です。
- 9月下旬頃から、調査員がみなさまのお宅を訪問し、調査書類をお配りします。
- 回答は、スマホやパソコンからかんたん便利なインターネットでお願いします（郵送も可能です。）。
- スマホからの回答は、QRコードを読み取ることで簡単にログインできます。IDやパスワード（アクセスキー）の入力は不要です。
- 国勢調査の結果は、国や地方公共団体だけではなく子育て支援への利用、防災対策への利用、企業等での利用など、わたしたちの身近な暮らしに使われています。
- 重要な調査になりますので、回答をよろしくお願いいたします。

インターネット回答期間

調査票（紙）での回答期間

9/20^土 → 10/8^水 10/1^水 → 10/8^水

※インターネットか調査票（紙）どちらかで回答

国勢調査については、「国勢調査2025キャンペーンサイト」をご覧ください。

<https://www.kokusei2025.go.jp/>



総務省・北海道・鶴居村

問合先：役場企画財政課 ☎0154-64-2112

みんなの掲示板

人口の動き（前月比）

総人口 2,394人（+2人） うち外国人人口 59人（+3人）
男性 1,201人（+3人）
女性 1,193人（-1人） 世帯数 1,195世帯（+5世帯）

死亡事故ゼロの日
3,546日
※すべて7月末時点

お誕生おめでとうございます

吉田 凜月（男）鶴居市街
齋藤 志苑（男）下幌呂

—むらのイベント—

■鶴居ふるさとまつり

9月23日（火）に「鶴居ふるさとまつり」が開催されます。飲食店等による出店やモーモーコンテスト、大当たり抽選会などが予定されています。ぜひお越しください。

日 時：9月23日（火）10時～15時

場 所：茂雪裡川河畔

問合先：産業振興課商工観光係

☎0154-64-2114

■美しい村フェア

村が加盟する「日本で最も美しい村」連合に加盟している全国の町村の特産品とつるぼーの家がコラボする企画「美しい村フェア」第10弾が9月も開催されます。9月は岐阜県下呂市馬瀬地域の特産品「鮎」「鶏ちゃん」を予定しています。詳細はつるぼーの家Instagramよりご確認ください。

日 時：9月27日（土）28日（日）

問合先：つるぼーの家

☎0154-64-5350



—むらからのお知らせ—

■後期高齢者医療制度（高額療養費）のお知らせ

令和4年10月1日から実施していました窓口負担割合が2割となる方への配慮措置が、令和7年9月診療分をもって終了となります。

・終了となる配慮措置の概要

令和4年10月1日の施行後3年間（令和7年9月診療分まで）は、2割負担となる方について窓口負担割合の引き上げに伴い、1ヶ月の外来医療の負担額を3,000円までに抑えます。（入院医療費は対象外）

問合先：北海道後期高齢者医療広域連合

☎011-290-5601

鶴居村役場住民生活課保険年金係

☎0154-64-2113

—その他—

■行政相談について

行政機関や弁護士、司法書士などが、登記、相続、年金などの身近なお困りごとについて相談に応じます。（無料・予約優先・相談1回15分）

日 時：9月30日（火）10時30分～15時30分

場 所：イオンモール釧路昭和1階サンコート

その他：電話予約22日（月）24日（水）8時30分～17時15分

予約・問合先：釧路行政監視行政相談センター

☎0154-23-7136

■9月24日から9月30日は結核・呼吸器感染症予防週間

2週間以上風邪症状が続く場合は、結核の可能性もあります。早めに医療機関を受診しましょう。高齢者や小児は症状が現れにくいですが、高齢者の方は市町村の検診などを利用して、年に1度は胸部レントゲン検査を受けましょう。小児は遅くとも1歳になるまでにBCGの予防接種をしておきましょう。

問合先：釧路保健所保健行政室健康推進課

☎0154-65-5825



鶴居文芸

凍原社8月句（俳句）

盆迎え仏飯さらに高く盛り
旭岳迎へ呉れみしちんぐるま
避暑の客降り立つ道東むせ返る
夜の秋迎へることの出来るかや
猛暑なり身なり食なり乱れつつ
津波避難曾孫等迎へ冷麦を
盆近し迎える遺影変わりなく

恒 紀 和 春 公 ち ミ
子 代 子 夢 子 え ヤ
子 子 子 子 子 ノ

「鶴居村食育推進計画」が新たに策定されました！

「食育推進計画」とは、食育基本法に基づき、食育の推進に関する基本的な方針や目標について定めたものです。鶴居村では、「鶴居村健康増進計画」の栄養・食生活に関する計画に包含する形で、令和7年度より、「鶴居村食育推進計画」を新たに策定しました。



そもそも、『食育』ってなあに？



『食育』とは、「生きる上の基本であって、知育や体育などの基礎となるべきものと位置付けられ、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を獲得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるもの」と農林水産省より提言されています。こどもも大人も、全ての人が日々の食事を楽しみ、生涯を通じて健康で居るために重要な取り組みです。

評価項目		基準値	目標値
適正体重を維持している人の増加 ※20～64歳：18.5 < BMI < 25.0 ※65歳以上：20.0 < BMI < 25.0		56.1%	61.0%
野菜を1日に350g以上、ほぼ毎日食べる人の割合の増加		17.6%	40.0%
食育に関心のある人の増加		65.2%	90.0%
朝食を家族等と一緒に食べる頻度が週1日以下のこどもの割合の減少	小学生 (3～6年生)	4.4%	減少
	中学生	41.9%	減少

「鶴居村健康増進計画」並びに「鶴居村食育推進計画」で掲げられている目指す姿は、
★栄養、食に関する知識を習得し、よりよい食生活を自ら実践できる
★食を通じて生涯にわたり心身共に健全な生活を実現できる
の2つです。表が示すとおり、鶴居村では、適正体重の維持、野菜摂取量、食育への関心度、家族との食事の摂り方について、特に課題を抱えている現状があります。

上記の目指す姿や目標値の達成を実現するために、鶴居村では管理栄養士をはじめとした多職種が連携し、個別の栄養相談や栄養講話、乳幼児とその保護者を対象とした料理教室、村内保育園・教育機関での食育活動や、給食を通して地産地消・日本の伝統食を伝えるといった様々な活動に取り組んでいます。今後も、住民の皆さまの食生活がより良いものとなるように、各種事業を継続していきます。

また、9月1日(月)～9月30日(火)は、「食生活改善普及月間」です。鶴居村同様、全国的に野菜不足について注目され、加えて果物摂取量も減少していることから、「まずは毎日、あの一皿ずつ野菜と果物をプラス」を新たな重点テーマとしています。毎日取り組むのが難しい方は、1日置きに曜日を決めて、朝昼晩の1食いずれか…など自分に合った・できそうな範囲で、食生活を見直すきっかけにしてみたいかがでしょうか。

3歳児歯科表彰 虫歯のない子

令和7年7月に行われた3歳児健診で「虫歯のない子」として表彰されたお子さんです！

鶴居市街

よしだ あつき
吉田 篤生くん



鶴居市街

かじなみ れい
梶並 伶衣ちゃん



鶴居市街

うじた ひな
宇治田 陽奈ちゃん

鶴居市街

なつめ あんな
棗 杏菜ちゃん



救急特集

鶴居消防署から情報を皆様のもとへ



X (旧Twitter)



Instagram

救急車はいつ呼べばいいの？

Challenge 予防救急とは何ですか？

救急車で搬送されるような病気やケガの中には、日常のちょっとした心がけで防げるものがあります。

救急車を呼ばなくてはならないような病気やケガを未然に防ぐために、日ごろから気を付けるポイントを知り、意識して行動することを「予防救急」といいます。



出典：総務省消防庁

全国救急受診アプリ 通称：Q助

急な病気やけがをしたとき、該当する症状を画面上で選択すると、「今すぐ救急車を呼びましょう」「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」などの必要な対応が、緊急性をイメージした色とともに表示されるアプリです。消防庁HP、またスマートフォン版は「App Store」で「Q助」上ダウンロード可能です。



総務省消防庁
Q助ダウンロードサイト



Pickup!

救急車が必要な時はどんな時？

急な病気やケガをしたとき、救急車を呼んだほうがいいのか迷うことがあると思います。緊急性の高い症状があるときは、すぐに救急車を呼ぶ必要があります。緊急性の高い症状を紹介しますので、このような症状があった場合は迷わずに「119」番通報して救急車を要請してください。「突然の激しい頭痛や胸の痛み」「呂律が回らない」「体がしびれて動けない」「視界が遠のく」「激しい腹痛」など。



出典：政府広報オンライン「もしものときの救急車の利用法」どんな場合に、どう呼べばいいの？

Check✓

鶴居村の救急搬送の現状について

近年、全国的にも救急件数が増加しております。件数の約半数が医療機関にて「軽傷」と診断されております。鶴居村には救急車が2台しかありません。適正利用によって、本当に救急車を必要とする人の命を救うことに繋がります。過去4年間の救急車搬送人数は下記のグラフのとおりとなります。軽傷者の割合は約半数となっておりますが、救急講習の際に、救急車の適正利用について呼び掛けて軽傷件数の減少を図っております。



新刊案内

鶴居村図書館だより

図書館からのお知らせ

9月は役場保健福祉課地域包括支援係との連携企画として「世界アルツハイマーデー」をテーマにアルツハイマー病や認知症についての本や闘病記など幅広い内容の本を展示・紹介します。

展示期間：8月27日（水）～9月29日（月）

●開館時間……10：00～18：15

●休館日……9月の休館日は9/30(火)です。

●貸し出し……【本・雑誌・紙芝居】

2週間（1人10冊まで）

【CD・VTR・DVD】

2週間

（CD3点、VTR2点、DVD1点まで）

紹介されている本は8/27(水)から利用できます。

腰痛は自力で治せる！



大島 精司 監修
腰痛の原因はさまざま。自分の症状に合わせた正しいアプローチでケアしよう！運動療法はもちろん、姿勢や動作の改善法、食事の考え方、精神的ストレスの解消法など、科学的に効果が証明されている方法を紹介します。

傘袋でジッパー袋で！最高においしい野菜が1年中、楽しく作れる本



ぼたろう 著
傘袋で長ねぎ、ジッパー袋で小松菜…。エコバッグ、食品トレーなど、身近な容器を使ったおいしい野菜の育て方を紹介する。リーフレタス、春菊、金時にんじん、聖護院かぶ、空芯菜、ラディッシュ、オクラなど、33種を収録。

情熱



桜木 紫乃 著
40年ぶりに再会を果たした同級生のカメラマンとスタイリスト、「ボケたら関係解消」が条件の70代ホストと美容師…。生き惑う大人たちの物語全6編。

給水塔から見た虹は



窪 美澄 著
はじめてできた「ルーツ」の違う友達、母とのすれ違い。この世界のさまざまな分断に戸惑う2人の“こども”が、少しずつ“おとな”になるひと夏を描く。

守れ野生のロボット

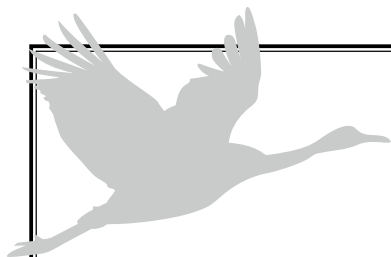


ピーター・ブラウン 作・絵
前沢 明枝 訳
毒潮が来る！ひどい環境汚染にさらされた「野生のロボット」ロズの故郷の島。ロズは大切な家族と仲間たちを守ることができるのか？

すすすっぱっぱ



海野 あした 作・絵
お母さんがレモンを食べたら「すすすっぱっぱ」。おばあちゃん、お兄ちゃん、赤ちゃんも次々と“すっぱい顔”に！でも、お父さんがみかんを食べたら？シンプルな顔の表情だけで、すっぱさが伝わる絵本。



シリーズ
タンチョウ
Vol. 365

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

石下 亜衣紗

〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ

検索



長沼町×鶴居村 タンチョウ子ども交流ツアー ～鶴居編～

KODOMO湿地交流つるい委員会では、子どもたちの自然体験・交流の場をつくるため、村からの補助を受け、村内の小中学生を対象に毎年「KODOMO湿地交流」に取り組んでいます。北海道各地、時には本州の子どもたちと自然体験を通して交流してきました。今年も、毎年交流を続けている長沼町の子どもたちとの交流ツアーを7月31日・8月1日に鶴居村で実施しましたので、その時の様子を紹介いたします。

今回の交流ツアーは2日間。1日目の活動はタンチョウの観察と巣の調査です。「湿原の中に巣を作る」と話には聞いたことあるけど、実際のタンチョウの巣ってどんなだろう？大きさは？形は？巣材は？周りの環境は？見に行く前に予想してもらいました。

巣をイメージしたら、実際に野外へ自分の目で確かめに行きます！まずはタンチョウの姿を観察。まだ茶色いヒナを連れた家族に出会うことができ、長沼の子どもたちは大喜び！鶴居の子どもたちもその動きをじっくり見て、大人でも気づいていないような発見をしていました。そして、2つのグループに分かれ、それぞれ別の巣を調査します。どちらも牧草地に隣接する、小さな林の湿地にあり、そこに行くまでは牛がそばで見ていた牧草地を歩き、小川を渡り、ぬかるみを越え、2mのヨシをかきわけの大冒険。そして現れたタンチョウの巣は…予想よりも小さい！？普段は近くで見ることのできない貴重な機会です。計測し、中にあるものを探り、巣に乗ってみて抱卵中のタンチョウの視界や気持ちを味わいました。

調査が終わった後は、グループ毎に結果をまとめて、発表し合います。周りにたくさんあるヨシを主に使って巣を作っていること、巣の中には卵の殻が残っていることは同じでしたが、大きさが30cm以上違い、「タンチョウの巣」はそれぞれの場所に合わせて作られていることが分かりました。予想よりも小さかったけれども、実際に自分の五感を使って確かめることで「こんな歩きにくい所に巣を作って、卵を守っているなんてすごい！」と感じてくれた子が多かったようです。

2日目は、温根内で外来生物「ウチダザリガニ」の防除活動。じっと我慢しながらザリガニを待ち、釣りあげていきます。この日はじめてザリガニを掴んだ子もいたようでした。そして釧路湿原の広さを感じてもらいつつ、生き物ウォッチング。トノサマバッタやエゾトンボ、なかなか見ないオニクワガタを見つけたり、湿原に生える食虫植物モウセンゴケも観察しました。食虫植物と聞くとおどろおどろしいイメージですが、実物はとても小さくて、見惚れるような繊細な形をしています。



2日間の濃密なプログラム。暑かったり汚れたりしたこともありましたが、それでも子どもたちは目をキラキラさせて様々な発見をしていくのが印象的でした。楽しく無事に終了できたのは、恵まれた自然環境と地域の皆さまのご理解がそろっていたおかげです。10月には鶴居の子どもたちが長沼町を訪問する「長沼編」も予定しています。

📢 9月の鶴居村

日時：9月3日(水)10:00～
第22回釧路地区老人クラブ連合会
パークゴルフ大会
場所：鶴居村パークゴルフ場

日時：9月9日(火)10:00～
第3回鶴居村議会定例会
場所：鶴居村議場

日時：9月10日(水)10:00～
第3回鶴居村議会定例会
場所：鶴居村議場

日時：9月11日(木)10:00～
第3回鶴居村議会定例会
場所：鶴居村議場

日時：9月12日(金)10:00～
第3回鶴居村議会定例会
場所：鶴居村議場

日時：9月23日(火)10:00～
鶴居村ふるさとまつり
場所：鶴居村村営球技場

日時：9月26日(金)11:00～
鶴居村敬老会
場所：総合センター

日時：9月28日(日)9:15～
第64回鶴居村駅伝競走
場所：村内

📷 今月号の表紙



鶴居村納涼祭りでの「ピエロのぐっち」によるスペシャルバルーンアートの様子です。

参加型のショーもあり、選ばれた子は「ピエロのぐっち」とラジオ体操を競って盛り上がりました。最後には次々と繰り出される可愛いバルーンを「はい！」と大きい声で多くの子供たちが貰い、とても嬉しそうにしていました。笑顔溢れる楽しい時間となりました。

📬 寄付

ふるさと納税（7月分速報値）
541件 6,498,000円



村公式SNS



Instagram



X (旧Twitter)



YouTube



Facebook

✍️ 編集後記

残暑が厳しい8月が終わり、秋の季節が始まる9月となりました。去年よりも暑い夏となりましたが、皆様の夏はいかがでしたでしょうか。9月23日はふるさと祭りが開催されます。多くの方のお越しをお待ちしております。(C)